

令和3年度事業報告

(自令和3年4月1日、至令和4年3月31日)

認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

1 事業の成果

自立援助ホーム「星の家」は、令和3年4月よりホーム長が代わり、新体制でのスタートであった。令和3年度を通しての平均入居者数は月当たり5.6人であった。年度内の新たな入居者は3名であり、実質8名に対して必要な支援を行った。そのうち3名が家庭に戻ったり、就職やアパートを借りて自立していった。昨年度に続き新型コロナウイルスの影響を受けた1年であり、入居者3名が時期をずらしで感染した。

近年、社会的養護の経験がないまま、また就労経験を経ずに入居に至る者が大半を占めるようになってきている。昨年度、高校在籍者は5名のうち2名が退学したが、中学時代から休みがちだった子どもが学業と仕事を両立かつ継続していくことの難しさを感じた。いずれにしても目的意識のないまま入居してくる子どもが増えており、彼らの自立までの道のりの困難さを改めて感じた。

一方で150名に達する退所者へ相談対応であるが、37名のOBOGと延べ941回のやりとり（来所対応152回、訪問支援107回、電話相談235回、メール（LINE含む）相談421回、手紙3回、関係機関とのやりとり23回）があった。とちぎユースアフターケア事業協同組合が1年間に受ける相談件数が約600件であることを考えると膨大な数であり、アフターケアに多大なエネルギーを費やされていることが窺える。

「ママと赤ちゃん家」では、2つの家庭に対して42回の支援を行い、延べ66人の乳幼児を預かったほか、乳児院や市役所、児童相談所への動向支援などを行った。

ファミリーホーム「はなの家」は、令和3年度を通しての平均入居者数は月当たり5.6人であった。年度内に2名が退所（大学在学20歳到達）、1名が入所（家庭から）した。また、宇都宮市のショートステイ事業や児相の一時委託保護で計4名の子どもを預かり、うち1名はそのまま措置委託となった。2年度末に高校を卒業したものの就労先が定まらず、措置を延長して障害福祉サービスへの移行を進めている者が1名いた。

宇都宮市からの委託事業（要支援児童健全育成事業）の「月の家」では、利用者の実数は15名で、一人当たり週2回の利用とし1回当たり約6名の利用があった。中学3年生の2名については保護者と一緒に高校の説明会や三者懇談にも同席した。11月には「ノリノリの会」企画による運動会をYMCA運営の居場所「アットホームきよはら」と合同で実施した。子ども達は、障害や被虐待、不登校と様々な問題を抱えており、この事業があつて何とか生活が維持できている状態である

栃木県より2017年度から受託している「子どもの居場所担い手育成事業」であるが、県内の子どもの居場所のスタッフの育成・支援を目的とした研修事業を中心に企画・実施した。基礎研修を2回実施し計136名が参加した。応用研修を2回実施し計102名が参加した。また子どもの居場所連絡協議会の事務局として連絡協議会を2回開催した。さらに普及啓発のために「子どもの居場所」リーフレットの修正を行った。

収益事業としてチャリティーコンサートと星の家まつりを予定していたが、昨年に続きコロナ感染拡大防止のためいずれも中止した。

虐待防止ネットワークとの共催で「第12回子どもの虐待をなくそう県民のつどい」をパーティホールにて開催した。「虐待サバイバーが社会を変える～子ども虐待、最前線」をテーマに今一生さんによる講演、被虐待当事者が登壇してパネルディスカッションを行い約100名の参加者があった。

広報活動として会員向けに会報を2回発行した。

2 事業に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
1. 青少年の自立に関する相談・援助事業	とちぎユースアフターケア事業協同組合と連携しながら活動	通年	とちぎユースアフターケア事業協同組合 星の家	職員4名 非常勤1名	社会的養護の対象者	0
2. 自立援助ホームの運営	自立援助ホーム「星の家」の運営 (児童自立生活援助事業)	通年	星の家	職員3名 非常勤1名	社会的養護の対象者	26,269
3. ファミリーホームの運営	ファミリーホーム「はなの家」の運営 (小規模居住型 児童養育事業)	通年	はなの家	職員1名 非常勤3名	社会的養護の対象者	26,316
4. 居場所作り事業	要支援児童健全育成事業「月の家」の運営	通年～	月の家	職員1名 非常勤3名 アルバイト8名 ボランティア9名	社会的養護の対象者	16,356
	子どもの居場所担い手育成事業	通年～	月の家 栃木県庁	非常勤2名	居場所の担い手を育成・支援	658
5. 機関誌・会報の発行	会報の発行	年2回 (8月・1月)	支える会	職員4名	会員及び支援者 1100名	340
6. 会員拡大のための事業	中央地区研修会	中止				0
	②「子ども虐待をなくそう県民の集い」	11月28日	栃木県総合文化センター	職員3名 非常勤1名 ボランティア 数十名	県民参加者 100名	0

(2) その他の事業 (収益事業)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	事業費の 金額 (千円)
① -1 バザー	第23回星の家まつり	中止			
① -2 チャリティー コンサート	第22回青少年の自立を 支える会コンサート	中止			
② その他事業 を行う為の 必要な資金 を得る事業	実施なし				